

# 定期物・シリーズ商品の作業フロー改善

同様の作業を繰り返し行う定期刊行物やシリーズものは、作業フローを見直すことで、大きな改善効果が期待できる商品です。実際に省力化や品質向上、工期短縮につなげた事例を紹介します。

## ■デザインから製版までワンストップ

当社はDTP組版をメインの業務としておりますが、その前後のデザインや製版といった工程についても、スタッフと設備を社内に有しています。

これまで別々に依頼していた業務の発注場所を一本化することで、工期の短縮、品質の安定につながります。また、編集担当者の業務軽減も期待できます。



## CASE 01 デザイン支援

月刊誌の編集部から相談をいただきました。懇意にしているデザイナーにデータ制作を校了まで依頼しているが、進行が遅れ気味とのこと。

そこで、当社がレイアウト作業以降のDTP、および一部ページのデザインを受け持つことになりました。当社のデザイナーは組版にも精通しており、レイアウトが似ているページはフォーマット化して効率化。DTP作業もスムーズに流れ、その後は予定通りに校了できるようになりました。➔ MCR56,75

## CASE 02 図版、イラスト作成

学習参考書や実用書には多くの図版やイラストが使用されます。

実用書のシリーズで、DTP作業とあわせて図版やイラストを一括発注していただきました。編集者の手間が減っただけでなく、同じ場所で組版を行うため誌面を考慮したイラストのタッチ選びやレイアウトをしてもらえたと評価いただきました。

当社がイラストをお請けした書籍で、ベストセラーとなりシリーズ化された例もあります。当社ウェブサイト「お客様の声」でもご紹介していますので是非ご覧ください。➔ MCR39

※➔ MCR 関連項目を掲載した Meisho-do Creative Report のバックナンバーです。当社ウェブサイトなどをご覧ください。

## CASE 03 画像補正、加工

掲載写真の色調の違いが重要な書籍があります。当社が受注した医学書では、著者から校正段階で色が見たいと要望があり、カラーマネジメントされた当社のプロジェクトプリンターで色調を確認するフローに変更。同時に本誌色校正を取ることはやめました。

当社には画像処理専任のオペレータが在籍していますので、人物や風景、商品写真の補正や加工、レタッチもご依頼いただけます。➔ MCR37

## CASE 04 製版データ作成、DDCP出力

当社がDTPを行っていた旅行ガイドブックを印刷していた業者からの要望で、当社が製版工程まで担当することになりました。

その印刷会社では工程毎に作業場所が違い、データの受け渡しやその確認作業に時間と労力がかかっていましたが、当社が組版、インクジェットDDCP出力、製版データ作成を一括で行うことにより、データ校了から印刷開始までのスケジュールを2~3日短縮することができました。➔ MCR59

## ■技術力を生かした効率化

当社では組版制作に関する技術開発を行う専門部署を設けており、社内業務の省力化、品質向上を進めています。また、効率化が期待できる新しい技術やソフトウェアについては、お客様へ紹介、提案を積極的に行っています。

ウラ面からは、そのような技術を作業フローに取り入れていただき、効率化が実現した事例を紹介します。



## CASE 05 自動組版

掲載物件の件数が非常に多いガイドブックで、原稿作成や組版、校正に非常に時間がかかっていました。

元々あった掲載案件のデータベースを使って組版を自動化したところ、以前と比べて出校が非常に早くなり、人為的なミスがないため校正の手間も削減できました。校了後に最新のInDesignファイルからデータベースに書き戻しができるため、次回原稿作成も省力化されます。➔MCR30

## CASE 06 自動ルビ

歴史をテーマにした図解書籍でしたが、制作途中総ルビにすることが決まり、デザイナーでは対応できなかったため、そのデータ制作を引き継ぎました。

当社では特に指定はいただかなくても自動的にルビを入れることができます。何年生以上で習う漢字だけにルビを振る、またカタカナや英字、数字にルビを振るか否かなど細かな設定にも対応しています。

商品はシリーズ化し、続刊については引き続きDTP作業を当社にご依頼いただきました。➔MCR24

## CASE 07 Wordテンプレート

テキスト原稿はWordで入稿されることがほとんどですが、当社では原稿作成用にWordのテンプレートデータを作成し、お客様にお渡ししています。実際の紙面をイメージしながらテキスト原稿を作成することができます。シリーズ物や定期物、大量ページの商品に向いています。

資格物の原稿作成にWordテンプレートを実際にお使いいただいている編集部からは、著者が文章量やレイアウトなどを考慮してテキスト原稿を作ってくれるようになり、編集業務の負担が軽減したとの声をいただいています。➔MCR72

## CASE 08 索引マーカ埋め込み

索引原稿の作成は非常に手間のかかる作業です。従来、校了間近になって索引語にマーカを引いたゲラなどを入稿いただき、索引語とノブルを収集するという工程が行われていました。

当社では、あらかじめ索引語の指定リストをいただき、InDesign上の索引語に索引マーカを埋め込むことにより、出現ページを発生させます。これらはすべ

て自動で行っています。

索引データは校了後にExcelデータでお渡しできますので、年度改訂のある商品などでは、特に大きな省力化が図れます。➔MCR62

## ■作業処理能力とデータの管理体制

プリプレス専門業者である当社には数十名のエキスパートスタッフが在籍しているほか、豊富な設備や最新のソフトウェアを取りそろえており、作業処理能力に不足はありません。



また、お客様から預かったデータを守り、業務を中断させないためのBCP（事業継続計画）を策定し、それに基づいた万全の管理体制を敷いています。

## CASE 09 他業者からの作業引き継ぎ

DTP業界では、ソフトやハードのアップデートの遅れ、スタッフの高齢化や業務縮小、廃業により、商品の受注継続が不可能になるケースがあります。

最近でも月刊誌のDTP作業を他業者から急遽引き継ぐことになりましたが、事情があり、その業者からデータを受け取ることができませんでした。

そこで、バックナンバーのPDFをもとに事前にInDesignでフォーマットを再現し、入稿に備えました。切り替えによるストレスを感じさせることなく、無事に引き継ぎを完了しました。➔MCR74

## CASE 10 過去データの保管・復元

古い書籍を改訂して復刻版を作りたいが、制作当時のデータがないという相談をいただきました。

そこで、書籍からOCRを使ってテキストを抜き出し、写真はスキャン、図版はトレスしてデータを復元しました。復刻版は無事刊行され、電子書籍版も作られました。組版データはその後の改訂やシリーズ展開にも使用されています。

シリーズ物や定期物、年度毎に改訂を行う商品は、基本、既刊物のデータを流用して制作されますので、校了後のデータ管理が重要です。当社で制作した組版データについては、原則東京と新潟の二拠点、およびクラウド上で永年保管されています。➔MCR52,78